

軽井沢土曜懇話会

第1回 5月31日(土) 15:00~

新しい倫理を求めて - 混迷の世に思う

われわれの生きている時代の混迷の実態を社会と自然と学問の三つの領域で明らかにし、その原因を明確にするとともに、それらに対する基本的対策を思索した結果をできるかぎり理解しやすい形で説明したい。

上の省察は1982年以来日本で毎年開催されている国際エコエティカ*学会という私どものセンターが組織している国際共同プロジェクトの成果(既刊20巻の欧文論文集)の一端を示すものである。

*eco-ethica (生圏倫理学)

講師 今道友信氏

哲学国際センター所長、東京大学名誉教授

略歴：1922(大正11)年東京生まれ、東京大学文学部哲学科卒業、同大学大学院を1953年修了、学習院大学、パリ大学、ヴュルツブルク大学非常勤講師、九州大学助教授を経て、東京大学文学部教授、文学部長、定年退職後1982年哲学国際センターを創立、爾来その所長をつとめ現在に至る。現在ほかに英知大学大学院教授を兼務。その間、国際美学会会長、国際哲学会常任委員、パリ国際哲学研究所所長等を歴任、現在国際形而上学会会長、国際エコエティカ学会会長、文学博士。

専門：現代哲学・美学・倫理学

著書：『同一性の自己塑性』(東大出版会)、『美の位相と芸術』(東大出版会)、『エコエティカ 生圏倫理学入門』(講談社学術文庫)、『知の光を求めて - 哲学徒の歩んだ道』(中央公論新社)、『ダンテ「神曲」講義』(みすず書房)ほか20冊

編著：講座『美学』5巻(東京大学出版会)、『国際ブリタニカ百科事典』28巻、
『Revue Internationale de Philosophie Moderne』20巻ほか数十冊